



IFALPA AAIC with USC in Tokyo 開催報告

ALPA Japan/日乗連は南カリフォルニア大学 (University of South California、以下、USC) による航空事故調査員養成コース『AAIC (Accredited Accident Investigation Course) with USC』を招聘し、2019年2月4日～8日の5日間、東京・晴海において日本で初となる同コースが開催されました。

この養成コースを日本へ招聘するにあたって、ALPA Japan が2016年夏から3年の歳月をかけ、IFALPA および USC と協力して、日本での開催に向けて最良の環境整備を整えるべく準備を進めてきました。

今コースの講師は、米国運輸安全委員会 (NTSB) および連邦航空局 (FAA) の元調査官等3名、それに日本運輸安全委員会 (JTSB) の現役事故調査官1名の合計4名でした。米国人講師による講義は英語、JTSB 調査官による講義は日本語で実施され、必要に応じて通訳を交えて進められました。



参加者の内訳は4ヶ国から35名 (日本30名、オーストリア1名、韓国3名、シンガポール1名) で、外国人講師を交えた中で、講義以外の場においてもディスカッションやグループワーク等、全員が積極的に参加していました。



日本の受講生からは、「米国や日本における安全の考え方や、事故調査の実態を直接学ぶ事が出来て大変有益であった」「インタビュー、メディア対応等、普段学ぶことが難しい分野に関する知識が得られ、大変役に立った」「全て英語で実施されたグループワークも貴重な経験となった」「日本の現役事故調査官の方の話聞くことが出来て大変興味深かった」「外国人と親交を深める事が出来て視野が広がった」等、前向きな感想が多数寄せられました。また海外からの参加者からも、「日本の若いパイロットが多数参加し、熱心に受講している姿に感銘を受けた」との感想が寄せられました。



コース最終日には、USC から修了者全員に Certification（修了証書）が授与され、IFALPA からは IFALPA Accredited Accident Investigator（IFALPA 認定事故調査員）の申請資格が与えられました。今回受講した 35 名には、今後、世界の航空安全分野での活躍が期待されます。

尚、今回日本で初めて開催された同コースの紹介が、IFALPA の機関紙「IFALPA Magazine」にも掲載される予定です。



以上